



右折レーン延伸により中交差点の渋滞解消へ

～ 当該地区の更なる利便性向上に取り組みます ～

記者発表資料

国道4号中交差点（矢板市中）の渋滞を緩和するため、このたび渋滞対策を実施します。北に隣接する中北交差点において、昨年10月に渋滞対策を実施しておりますが、当該地区の更なる利便性向上に向けて右折レーン延伸を実施します。

「中交差点」対策の概要（別添1参照）

交差点を右折する車両が右折レーンに入りきらず、後続の直進車両の進行を妨げているため、右折レーンを延伸し、交差点を通過する車両の走行をスムーズにします。（当該地区は、渋滞見える化プランの要対策箇所に位置づけられています。）



期待される整備効果（別添1参照）

（現 状）渋滞により年間約10億円の経済損失が発生。

（期待される効果1）福島方面から東京方面へ直進する車両の走行がスムーズに

（期待される効果2）大きな経済効果が予想されます。

「中北交差点」の対策結果概要（参考資料参照）

隣接する中北交差点においても、同じ原因で渋滞が発生していましたが緊急対策として、右折レーンの延伸を実施し、渋滞が解消しています（昨年10月に実施）。この緊急対策では、年間4億円の経済効果を生み出しています。

平成19年12月5日

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所
副所長：秋元 孝夫（内線205） 調査課長：佐久間 博之（内線451）
住所：栃木県宇都宮市平松町504
電話：028-638-2181（代表）

実施対策の概要

渋滞発生状況

中交差点付近は、国道4号矢板付近のボトルネックに。
 渋滞による経済損失は年間約10億円。

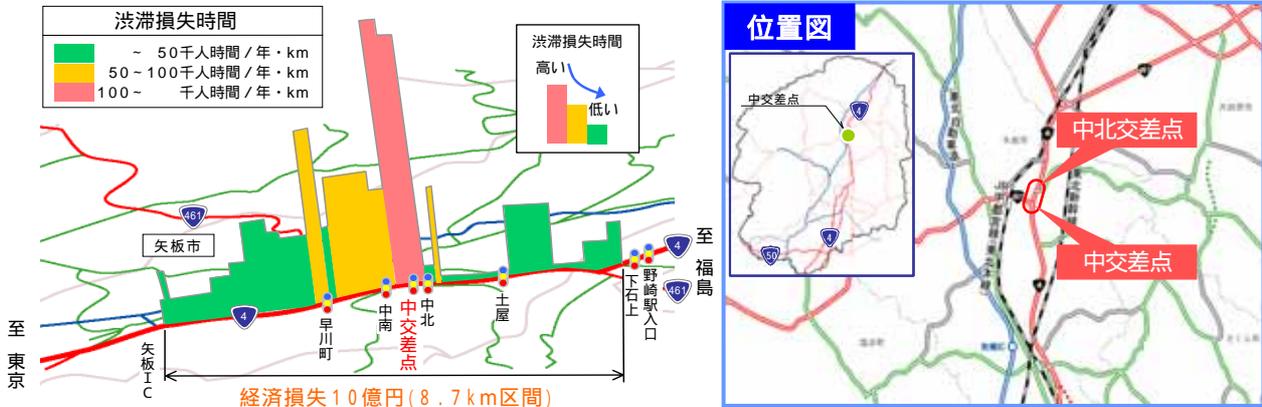


図1 中交差点付近の渋滞発生状況(走行調査データ;H18.11月実施)

渋滞発生要因

中交差点を右折する車両が直進車の進行を阻害し、渋滞が発生。



図2 中交差点付近の渋滞発生要因

実施対策の概要

右折レーンを30mから100mに延伸し、直進車両を阻害していた右折車がたまるスペースを確保します。



図3 中交差点の渋滞対策(右折レーン延伸)の概要図

渋滞損失時間;渋滞の無い状態下である区間を自動車で行く場合に要する基準的な旅行時間と実際の旅行時間との差分をいいます。(渋滞のため無駄にしている時間)

データ分析を踏まえ、解決を急ぐべき箇所から迅速かつ重点的に対応します

(P) 計画

データにより課題を確認
渋滞見える化プランで要対策箇所として
位置付け。

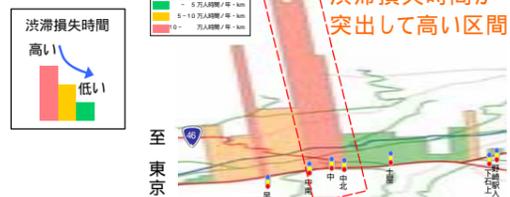


図1 中交差点付近の渋滞損失時間(H17年度上半期調査データ)

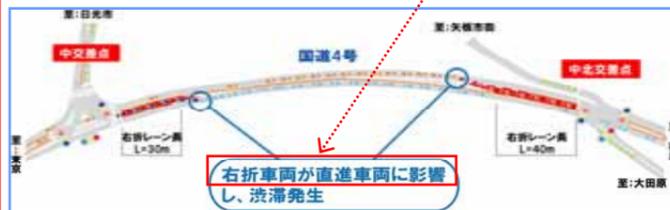


図2 中交差点付近の渋滞要因分析

現地診断を行い、周辺交差点を
先頭とした慢性的な渋滞状況を
確認。
主道路だけでなく従道路側の渋滞
を確認。



図3 中北交差点における渋滞状況

今回実施

検証結果をもとに更なる改善へ、**簡易対策を実施**します。

中北交差点では大きな効果が得られましたが、**中交差点では、依然として渋滞が残っているため**、引き続き中交差点においても簡易対策を実施します。



中北同様、右折車が直進車を阻害(中交差点)



図6 中交差点への渋滞対策(小規模対策)

渋滞損失時間；渋滞の無い状態下である区間を自動車で行く場合に要する基準的な旅行時間と実際の旅行時間との差をいいます。

できることから**即座**に対応

緊急対策案として、中北交差点の「**右折レーン**」を40mから**95m**に延伸

緊急対策(簡易対策)
H18.10実施

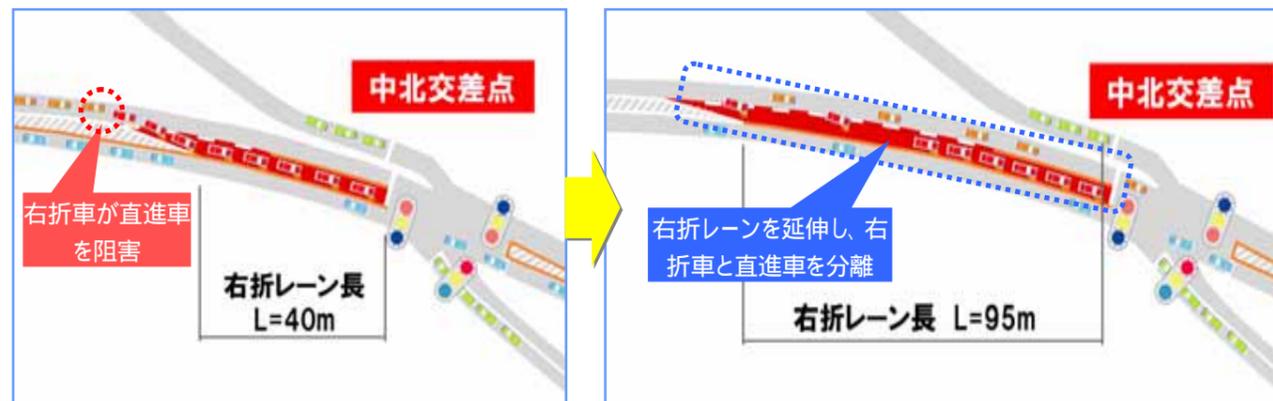


図4 中北交差点の渋滞対策(緊急対策)

中北交差点の右折レーン延伸による**対策効果を確認**。
緊急対策で渋滞による**経済損失を約4億円軽減**。

渋滞損失額 約14億円/年 約10億円/年

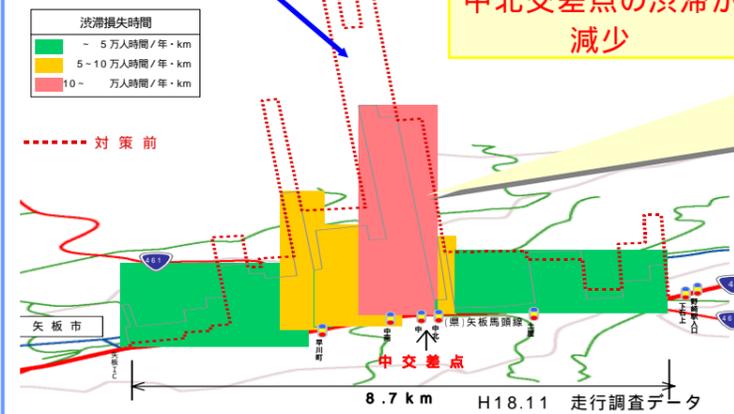


図5 中北交差点への緊急対策による渋滞損失時間の変化



国道4号の流れが改善 - 地元の方の声から -
国道4号の中北交差点と大田原市を結ぶ県道矢板馬頭線は第川の「かさね橋」が完成してから交通量が増え、これまで右折車が後続の流れを悪くしていました。
今回の整備で、右折レーンが長くなり、大田原市内へ入る右折車と国道4号の北進車の流れが良くなりました。
(矢板市中 ガソリンスタンド経営)

(D) 実施

(C) 検証